

## ◆ 第5回総会開催される

事務局 市川 文久 (S45年卒)

5月21日(土)、東京理科大学理窓会館にて野田建築会の第5回総会が開催された。出席者数23名、及び委任状数170名で会則の数に達し総会は成立し、議案に従い各部会からの実績報告と次期計画案の答申は了承され新たな年度の活動を開始した。

当会総会に先立つ4月27日に神楽坂工学部築理会総会が開催されたが菊地旧会長が交流の一環として出席された。東京理科大学設立125周年記念にあたる事、神楽坂校舎の再構築にあたり工学部校舎が取り壊される事など特別な総会と位置づけて会員出席増に力を入れた結果、百名を超える出席があったとの報告があった。

このところ当会総会への出席は20数名と少ない状況が続いている。再来年の平成20年は創立10周年の節目を迎える。これに向けて多くの会員の出席増を目指し、この8年間で徐々に衰退傾向にある同窓会組織をもう一度設立当時のように再生すべく【存在の理由や意味】などについて訴え会員の理解を得るよう努めてゆきたい。

総会終了後、理窓会館会議室において築理会の石神副会長をお招きして懇親会を開催した。副会長から今回築理会総会の百人を超える出席者を確保したいろいろな工夫についてお話をされたが、今後当会にも活用させて行きたいと思う。

## ◆ 新会長に佐藤和英氏(昭和47年卒)が選出される。

第5回総会で、平成14年度から17年度の2期4年に亘って会長として活動されていた菊地会長が規約に従い退任し、新たに佐藤副会長が新会長として選出された。菊地会長は副会長として選任され引き続き会長を支えてゆくことになった。新会長から現在の仕事上、出張が多く会議への全出席は困難な場合もあるが、役員の方々と一緒になって当会の再生を目指して力を尽くす旨の挨拶があった。なお、会長は7月出張先で倒れられ現在入院中で菊地副会長が会長代行を務めている。



総会風景

懇親会にて新会長挨拶

## ◆ 会計報告

会計部会 齋藤 喬 (S45年卒)

先の第5回総会で承認されました平成16年度、同17年度決算及び平成18年度、同19年度予算は以下のとおりです。

### < 決 算 >

|          | 平成16年度    | 平成17年度    |
|----------|-----------|-----------|
| 前期引継金    | 2,145,084 | 2,079,730 |
| 1. 収入    | 1,269,002 | 852,000   |
| 年会費      | 906,000   | 852,000   |
| 総会経費残    | 60,000    | -         |
| その他広告費等  | 303,002   | -         |
| 2. 支出    | 1,334,356 | 771,890   |
| 一般経費     | 1,334,356 | 772,890   |
| 3. 次期繰越金 | -65,354   | 80,110    |
| 当期残高     | 2,079,730 | 2,159,840 |

### < 予 算 >

|          | 平成18年度    | 平成19年度    |
|----------|-----------|-----------|
| 前期引継金    | 2,159,840 | 1,280,640 |
| 1. 収入    | 900,000   | 900,000   |
| 年会費      | 900,000   | 900,000   |
| その他広告費等  | -         | -         |
| 2. 支出    | 1,779,200 | 1,116,500 |
| 一般経費     | 1,779,200 | 1,116,500 |
| 3. 次期繰越金 | -879,200  | -216,500  |
| 当期残高     | 1,280,640 | 1,064,140 |

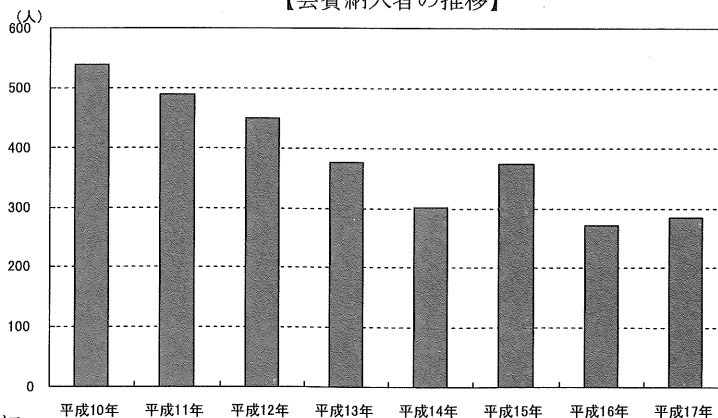
## ◆ 野田建築会存続の危機的状況打開のために

決算及び予算を御覧のとおり、野田建築会の財政状況は、危機的状況に直面しております。このままでは、数年後には、野田建築会の活動を維持して行くことが出来なくなってしまいます。これは、ひとえに、会費納入者が減少してきていることによります。

役員会では、名簿発行の停止、会報の配布を会費納入者のみに限定する等の対応策を実施しようとしておりますが、これでは、野田建築会の未来を語るこ

とが出来ません。会の活動を活気あるものにし、健全に運営して行くためには多くの卒業生の方々に参加して頂き、様々な情報交換や活発な相互交流をして頂く必要があります。是非、同窓の方々に会費納入の声を掛けて頂き、野田建築会を支えて頂くようお願いいたします。

【会費納入者の推移】



## ◆ 築理会との交流

会長 菊地 利武 (S46年卒)

築理会 35 周年記念総会後の懇親会に出席

工学部建築学科同窓会組織「築理会」の 35 周年記念総会・懇親会が 5 月 27 日 (土) に神楽坂キャンパス 1 号館 17 階会議室で開催され、招待されていた総会後の懇親会に出席しました。

工学部建築学科は、東京理科大学創立 125 周年記念事業 (神楽坂再構築事業 - 新 2 号館の建設) にともない、築理会の方々が慣れ親しんだ 7 号館と 9 号館を離れ、既に、昨年 12 月に竣工した工学部の仮校舎として新たに整備された九段校舎に移転しています。

この度、築理会では「さよなら 7 号館、9 号館」と銘打って、昔の学び舎であった 7 号館と 9 号館を偲び、神楽坂キャンパスにおける最後の総会・懇親会を開催しました。当日は、目標としていた 100 名を大きく上回る 140 名余りの同窓生と退職された先生方や現役の先生方が出席され、熱気に溢れる盛り上がりのある懇親パーティーとなりました。

この懇親会を企画し準備作業を推し進めてきた三松会長はじめ役員の方々は、圧倒的な盛り上がりや安堵するとともに喜びをかみ締めているように見えました。また、懇親会には竹内伸学長と塚本桓世理事長も出席され祝辞を述べられましたが、理事長は野田キャンパスの整備状況や神楽坂キャンパスの再構築事業、東京理科大学の未来を見据えた今後の事業戦略についてお話されておりました。

懇親会会場では会を盛り上げる催し物として、理科大理学部出身の歌手、祥子さんのライブや軽音楽バンドの生演奏、その他、建築学科卒業生の出版物の展示や販売を行うなど、多くの先生方、OB・OG 及び現役生の協力を得ることで、多彩なすばらしい懇親パーティーに仕立て上げることができたようです。野田建築会にもそうしたパワーとネットワークが欲しいものだと強く感じました。

理科大卒 歌手 布井 祥子さん



総会風景



懇親会風景

でんろく会主催、野村先生の退官記念講演会が如水会館にて開催される 市川 文久 (S45年卒)

平成18年3月11日(土)、野村先生の退官を記念し講演会が千代田区竹橋の如水会館において開催されました。昭和43年から37年間理工学部建築学科に奉職され構造工学の研究・教育にご尽力を注がれてきました。野村研の卒研究生は三百数十名にも達しますが、講演会には1期生から37期生までの野村研究室出身者約90名が出席し、先生の37年間の建築構造耐震に関する研究・教育等について2時間にわたって講演して戴きました。

講演の後、野村先生への感謝会が開催され、限られた時間の中で多くの卒研究生と当時の思い出話を交わされました。中には卒研究生同士結婚されお子さんを連れて出席した家族もあり37年間の長さを実感させられました。

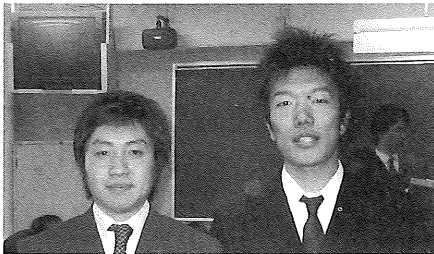
今後、野村先生はもう少し理科大教授(非常勤)として関わられ特別講義を受け持つとの事です。また、今まで携わってこられた外部の協会などの防災関係委員会の仕事は続けられるとの事です。

野村先生の永年のご指導に感謝し、今後のご健康とご活躍をお祈り致します。

※ でんろく会:野村研出身で構成される同窓会組織。建築学科の中では活発な活動を行っており、原則2年に1回の会合を開催し親交を暖めている。このでんろく会は衣笠研究室に引き継がれるそうです。

また、「でんろく会」の由来は今後各研究室の同窓会紹介特集の中でどなたかに説明をしてもらいたいと思います。

NAA賞受賞者 安藤 邦明君より



森清君

安藤君

今回、東京理科大学大学院を卒業するにあたり、NAA賞を受賞させていただきました。誠にありがとうございます。修士論文の作成に関しては武田先生を始め、たくさんの方々からご教授いただきました。このような環境で自ら提案させていただいた“外付け日射遮蔽スクリーン併用散水システム”で実測を行ない、結果が出たことに対して受賞することができ大変嬉しく思います。

4月より建設会社に就職し、現在は研修期間で現場に配属されております。来年より技術研究所にて本格的な仕事が始まりますが、この受賞が大きな自信となりましたので大学時代で学んだことを忘れずに建築環境をより良くできるシステムの研究開発で社会に貢献したいと思います。

会報部会より重要なお知らせ

会報部会 周藤 正信 (S54年卒)

今まで会報の春号は住所のわかっている卒業生みなさんに送ってきました。そして秋号は過去に会費を納入されたことがある卒業生のみなさんに送らせて頂きました。

しかし、今号は本学科卒業生4,900名の内、住所が確認できる3,500名の方たちにお送りしましたが、来年より紙面での会報発送は、その年に会費を納入された方のみとさせて頂くことになりました。

会費を払う価値があるのか?というご意見もあるでしょうが、OB会の情報もNAA-WE Bという形で進化しようとしています。今後は地域情報、同期同窓又は研究室の連絡網、仕事や就職又は趣味の情報等々、双方向の情報中継地としてお役にたてると思います。また紙面による会報は、上の年代の方たちには安心感と存在感という面で需要が高いので、今後も続けていく予定であります。



発行 東京理科大学野田建築会 〒278-8510 千葉県野田市山崎2641

<http://www.rikadaikenchiku.com/> (旧)<http://www5a.biglobe.ne.jp/~sut-naa/index.html>

郵便振替 口座番号 00130-9-27644 東京理科大学野田建築会